

大島町復興町民会議 産業・観光復興支援分科会報告（第1回～3回）

1. 開催概要

■毎週水曜日 18:00 開催 総委員数 19 人

	開催日時	検討事項	資料	参加者
第1回	平成26年 5月14日（水） 18時～21時	① 島内企業の早期再建 ② 農業の早期再建 ③ 水産業の早期再建 ④ 観光振興の推進 ⑤ その他	・ 椿まつり期間乗船客数 ・ 分科会検討事項 ・ 大島町基本構想（抜粋） ・ 大島町基本構想後期基本計画（抜粋）	分科会委員 14 人 復興計画策定委員会 菊地委員
第2回	平成26年 5月21日（水） 18時～21時20分	① 第1回分科会の主な意見を受けて ② その他	・ 宿泊施設人員調査 ホテル他・民宿月別調べ ・ 夏季宿泊状況表（工事業者等の予約・問い合わせ） ・ 早朝御食事処 元町中心街案内図 ・ 第1回分科会 主な意見 ・ 復興に向けての新聞記事（青山侑教授・白井岩仁氏） ・ 岡田港における船客待合所・津波避難施設の概要 ・ 弘法浜 海中部における流木・がれき等の撤去について【案】	分科会委員 15 人 都大島支庁 産業課長
第3回	平成26年 5月28日（水） 18時～20時15分	① 第2回分科会の主な意見を受けて ② その他	・ 第2回分科会 主な意見 ・ 分科会検討事項 ・ 分科会検討事項提案用紙 ・ 外部専門家制度 ・ 「地域おこし協力隊」について	分科会委員 15 人 都大島支庁 産業課長

2. 主な意見等

	テーマ	主な意見等
第1回	進行について	○会長の選出 ・ 分科会会長：白井岩人委員（大島観光協会会長）、副会長：白井嘉則委員（公募） ○分科会の開催日程について ・ 毎週水曜日 18時から
	今夏対策	○弘法浜の海開き ・ 弘法浜の海開きに向けた海水浴場、周辺インフラの復旧 ・ 海の家営業や物販などの賑わいづくり ○島に呼び込む ・ 以前実施した「富士山キャッシュバック」の例を参考にした島内商品券の配布 ・ キャンプ客やサイクリストなどターゲットを絞った客層への効果的な宣伝 ・ 宿泊客のうち建設業者と観光客の割合調整 ○島でもてなす ・ 元町港～野田浜から岡田港を結ぶバスの運行 ・ 地産地消の推進、そのための各事業者への補助 ・ 「おもてなし」の意識改革 ・ 早朝に営業している店舗の拡大と観光客への効果的な周知
	今夏以降の対策	・ 今夏対策からの取組みの継続性 ・ 既存キャンプ場以外にもキャンプ場を整備

		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを安心して遊ばせることのできる遊泳場の整備 ・復興市場の開設
	中長期的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、漁業、宿泊業など各事業者の高齢化、後継者問題 ・被災した神達地区の土地利用
第2回	今夏対策	<ul style="list-style-type: none"> ○島に呼び込む <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に向けてプレスを有効活用やメディアミックスによる積極的な情報発信 ・観光客への運賃補助等の実施 ・島内に還元する島内商品券の発行（大島町で検討中） ○島でもてなす <ul style="list-style-type: none"> ・弘法浜の早期復旧整備と海開きの開催（行方不明者家族への十分な配慮、説明、理解が前提） ・海浜清掃への積極的な呼びかけ、島全体での盛り上がり ・早朝営業実施店舗の周知、船客待合所内店舗の早朝営業と待合施設の活用 ・早朝営業の事業者への強制は困難 ・弘法浜周辺（元町）での復興市場の開設と海の家拡大、弘法浜プール跡地などでのイベント開催など賑わい創出
	今夏以降の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○三原山斜面地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・そのまま保全してジオパークとしての活用 ・椿の植樹にむけて差し穂提供意向のある農家がある ○中小企業の再建支援 <ul style="list-style-type: none"> ・メゾネット型公営住宅建設による中小事業者支援、職人への就業機会確保 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家（アドバイザー）制度の活用を検討 ・元町地区の宿泊施設のキャパシティの確保（各事業者への強制は困難）
	分科会からの提案・要望	<ul style="list-style-type: none"> ○弘法浜海開きの積極的広報（メディア等を活用） ○間接被害を受けた中小企業への利子補給補助 ○観光客を呼び込むための補助制度、島内商品券の配布等
第3回	今夏対策	<ul style="list-style-type: none"> ○島に呼び込む <ul style="list-style-type: none"> ・弘法浜の復旧と海開きには例年の海の家に加えて、復興市場を出店 ・復興市場には被災事業者だけでなく幅広く出店者を募集 ・いろいろな種類の出店により、浜ごとの面白みを創出 ・今夏の運賃補助は時期的に難しいので、継続的な実施を要望 ○島でもてなす <ul style="list-style-type: none"> ・早朝の食事提供には自販機などの活用も検討
	今夏以降の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○三原山斜面地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・上部はそのまま、下部は植林など、段階的な利用も検討 ○外部専門家制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の募集は終わっているため、今後の課題とする
	農業、漁業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキなどへの町産材（杉）の活用 ・農業者、漁業者も含めた復興祭の開催（被災者への配慮が必要） ・最新の冷凍技術の導入などによる海産物の売り出しと漁業振興